

問 市民局機能を高め行政の効率化を

答 本庁へ集約し効率行政を図る

岩路 昭美 議員

問 市民局への分権と本庁の統制、調整機能充実が市民の求める行政改革、サービスの向上の方向であり、合併理念である。

市民局弱体化や本庁集権の行き過ぎは、時代逆行の組織論だ。

市長 本庁完成時に山崎市民局を廃止、3市民局機能も見直す。職員を削減しなければならぬ状況から、市民局のみの強化を図る機構組織の改革にはならない。

問 本市財政の行方に市民の関心が高いが当然である。策定したとされる財政健全化計画を一日も早く公表すべきだ。

市長 国県の承認を待っている。所管の委員会への公表について検討をしているところだ。

問 起債繰上げ償還の計画だけでなく、将来負担比率等も視界に総合性をもつ財政健全化計画は、いつ策定できるか。

市長 財政健全化にむけた計画は国県と調整後に所管委員会に公表を検討していく。

問 類似市町に比べ、図書館蔵書数が著しく少ないとの認識をお持ちであるか。

市長 認識している。が財源上も一挙に解消できない。

問 工夫と意欲の問題だ。寄贈やブックシェア方式等も活用し、早急な改善をし、近隣市との格差是正を求める。

市長 有効な方策を考えていきたい。

問 学校図書館は文科省基準を達成しているのか。

教育部長 冊数クリアだが、魅力ある内容充実を図る必要がある。



神戸小学校図書室

問 中山間地の農政に疑問！

答 地域に合った取り組み支援

藤原 恵男 議員

問 もともと減反政策に始まった中山間地の色々な制度は農地の保全や環境・景観の保持等に相応の効果もあつたが、今ここにきてそのまま続けられるものか、果たして適切なものかを見直すべきである。中山間地の現状はただ農政だけの問題ではない。過疎や限界集落等の不安を抱きながらの取り組みがある。

中山間地域等直接支払い制度にしても、ただ水田農地の確保だけに固執した感がある。現実の集落の状況や水田営農の方法からみても、あくまで水田に復旧するなどほとんどあり得ない場所もある。制度の条件に多少の違いがある等の理由で補助金の返還を求めるなどは、現状を踏まえないものだ。中山間地を

守り、出来る限りの努力をする地域を評価すべきだ。獣害防止等の施策も抜本的な解決につながっておらず、莫大な費用を要している。集落の資金や人的な負担も大きい。

市長 地域に合った皆さんの取り組みを行政としても最大限支援したい。

産業部長 現在内部での評価成制度に適合するよう指導や検討を進めたい。



保安全管理が行届いている中山間地